

事業報告書

平成28年度

社会福祉法人 慈協会

特別養護老人ホームサニーヒル
特別養護老人ホームサニーヒル ユニット
デイサービスセンターサニーヒル
ショートステイサービスサニーヒル
サニーヒル居宅介護支援センター
地域包括支援センターブランチサニーヒル

平成 28 年度事業報告

施設長 岡寄 圭次郎

平成 28 年度の各事業部門の稼働状況につきましては、従来型特養は延べ利用人数 18,439 名（前年 18,833 名）で 394 名の減少、またユニット型特養は延べ利用者人数 14,413 名（前年 14,468 名）で 55 名の減少となりました。減少の要因としては、長期入院の方が多くいらしたことが挙げられます。ショートステイサービスは延べ利用人数 13,655 名（前年 13,027 名）で 628 名の増加、一方デイサービスについては延べ利用人数 3,207 名（前年 3,552 名）で 345 名減少となり、また居宅介護支援事業所は利用者数 1,275 名（前年 1,156 名）で 119 名の増加となりました。以上の様に、従来型特養・ユニット型特養・デイサービスは、前年より下回る結果となりましたが、ショートステイ・居宅支援事業所は、前年を上回る結果となりました。

平成 27 年度より、月に 1 回開催している運営委員会・経営会議で、理事長・施設長、幹部職員を始め、主要職員が定期的に話し合うことで意識改革を図り、稼働率の向上やコスト削減といった改善効果が徐々に、今年度はお陰様で黒字決算とすることができました。引き続き 29 年度に於いても、改革の手を休めず、経営の改善を行っていきます。

施設整備面では、老朽化した特別浴室の外壁の修繕工事が無事終了しております。

経営課題の一つとして、慢性的な人員不足が挙げられます。求人活動の継続は基より事務職員の介護業務へ応援や新卒職員の積極採用、職員処遇の改善等による離職率の低下など、あらゆる手段を講じて今後も人材確保に努めて参ります。

最後に、事故や災害等特になく、サニーヒル開設 30 周年が無事迎えられ、平成 28 年度事業が滞りなく遂行することができましたのも、理事各位の経営に対するご意見やご協力、また行政関係各位のご指導、更には地域の皆様方のご好意の賜物であり、心より感謝を申し上げ、事業報告とさせていただきます。

I. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホームサニーヒル）

平成28年度の入所者は20名（27年度15名）、退所者は19名（27年度10名）となっている。入所者の平均要介護度は3.6と、全国平均値と等しい数字である。

利用者の入所経緯としては、在宅からが15名（うちサニーヒルショートステイ利用者10名、他3名）、病院からが3名、老人保健施設からが1名、知的障害者施設からが1名と、在宅からの入所が多くなっている。

また、病院への入院中に体力や認知症が悪化し、退院が決まったもののその後に、自宅での介護が困難となり、次の生活の場を特別養護老人ホームで考えていると、入所希望の問い合わせが多くなってきているため、特養の空きが無い場合はサニーヒルのショートステイ利用を勧めるなどし、お待ち頂くこと無く退院後の介護サービスを提供出来るよう尽力した。

要介護度別の状況

平成29年3月31日現在

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男（人）	0	1	2	2	2	7
女（人）	2	4	17	14	8	45
実数（人）	2	5	19	16	10	52
割合（％）	4%	10%	36%	31%	19%	

平成27年度及び平成28年度利用人数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成27年度（人）	52	51	52	51	52	52	52	52	52	51	51	52	620
平成28年度（人）	53	53	52	52	52	52	51	52	52	55	53	54	631

平成27年度及び平成28年度利用日数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成27年度（日）	1,553	1,585	1,545	1,601	1,586	1,553	1,612	1,544	1,595	1,599	1,465	1,595	18,833
平成28年度（日）	1,481	1,525	1,531	1,577	1,592	1,489	1,530	1,529	1,605	1,556	1,438	1,586	18,439

認知症高齢者の日常生活自立度状況

ランクⅠの判断基準は、何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している状態。ランクⅡは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる状態。ランクⅢは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする状態。ランクⅣは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする状態。ランクⅤは著しい精神症状や問題行動が見られ、専門医療を必要とする状態が判定基準である。提供されるサービスの例としてはランクⅢより短期入所生活介護・通所介護の必要性があり、ランクⅣにおいては、介護保健施設の利用が適当と判断される。なお、ランクⅤの段階では専門医療機関(精神科)の受診が必要となる。

既存特養における利用者の状況は、ランクⅠに属する利用者は0名で、ランクⅡに属する利用者は4名、ランクⅢも29名、ランクⅣの自立度に位置する利用者が10名(3月31日現在)となっている。

平成29年3月31日現在

区分	Ⅰ	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	Ⅴ	合計
男(人)	0	0	1	1	2	2	1	9
女(人)	0	0	3	11	15	8	6	41
実数(人)	0	0	4	12	17	10	7	50
割合(%)	0%	0%	8%	24%	34%	20%	14%	100%

障害高齢者の日常生活自立度状況

ランクⅥは何らかの身体障害等を有するが、日常生活はほぼ自立し、一人で外出する者が該当。ランクⅦは「準寝たきり」に分類され、「寝たきり予備軍」ともいうべきグループであり、いわゆるhouse-boundに相当する。ランクⅧは「寝たきり」に分類されるグループであり、いわゆるchair-boundに相当する。ランクⅨはランクⅧ同様「寝たきり」に分類されるが、ランクⅧより障害の程度が重い者のグループであり、bed-boundに相当する。

既存特養における利用者の状況は、ランクⅥに属する利用者が0名、Ⅶが38名、Ⅷが12名、ランクⅨが8名(3月31日現在)となっている。

平成29年3月31日現在

区分	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ	合計
男(人)	0	0	5	1	0	0	0	1	7
女(人)	0	0	29	3	1	3	0	7	43
実数(人)	0	0	34	4	1	3	0	8	50
割合(%)	0%	0%	68%	8%	2%	6%	0%	16%	100%

年齢、性別および入所期間別区分表

平成29年3月31日現在

区 分		入所者数	入 所 期 間				
			～1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～
～64歳	男	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	1	0	0
	計	1	0	0	1	0	0
65～ 69歳	男	1	0	1	0	0	0
	女	2	1	1	0	0	0
	計	3	1	2	0	0	0
70～ 79歳	男	2	0	1	1	0	0
	女	5	1	2	1	0	1
	計	7	1	3	2	0	1
80～ 89歳	男	4	2	1	1	0	0
	女	20	7	1	5	2	5
	計	24	9	2	6	2	5
90歳～	男	1	1	0	0	0	0
	女	16	5	3	3	2	3
	計	17	6	3	3	2	3
合 計	男	8	3	3	2	0	0
	女	35	14	7	10	4	0
	計	52	17	10	12	4	9
平均年齢 男性80.6歳 女性86.97歳 総数85.93歳							
平均入所期間 男性1年2ヶ月 女性2年8ヶ月 総数2年5ヶ月							

保険者別区分表

保険者	区 分	人 数
袖ヶ浦市	介護保険利用者	34
木更津市	介護保険利用者	6
市原市	介護保険利用者	8
君津市	介護保険利用者	2
鋸南町	介護保険利用者	1
千葉市	介護保険利用者	1

I. ユニット型介護老人福祉施設（特別養護老人ホームサニーヒル ユニット）

ユニット特養は平成25年5月にオープンし、平成28年度内に入所された方は4名、退所者は4名であり、入所経緯は、在宅からが1名、障害者福祉施設からが2名、介護老人福祉施設からが1名であった。

在宅介護の継続が困難となり入所を申し込まれる方が多いことは既存特養と同じであるが、今年度は障害者福祉施設で要介護認定が出たために介護施設への移転が必要となり、入所される方が多くなっている。

待機者については在宅以外にも退院後の受入れを希望する事例が多くなっている。

要介護度別状況

平成29年3月31日現在						
区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男（人）	0	1	3	6	3	13
女（人）	3	6	5	8	5	27
実数（人）	3	7	8	14	8	40
割合（％）	7.5%	17.5%	20.0%	35.0%	20.0%	100%

平成28年度月別利用人数

平成27年度（人）	39	42	41	40	40	40	40	41	40	40	40	40	483
平成28年度（人）	40	40	40	41	40	40	40	40	40	41	40	40	482

平成28年度月別利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成27年度（人）	1,170	1,221	1,186	1,240	1,240	1,200	1,221	1,200	1,212	1,229	1,125	1,224	14,468
平成28年度（人）	1,173	1,192	1,194	1,192	1,221	1,200	1,236	1,200	1,240	1,229	1,119	1,217	14,413

認知症高齢者の日常生活自立度状況

ユニット特養における利用者の認知症高齢者の日常生活自立度状況は、ランクⅠに属する利用者が0名、ランクⅡは17名、ランクⅢが18名、ランクⅣが5名、ランクⅤが0名(3月31日現在)となっている。

27年度と比較すると若干ではあるがランクⅡの利用者がランクⅢへと移行している。年齢とともに生活自立度のレベルが重度化してきていることが窺える。利用者一人ひとりに必要なケアが多くなっているため、きめ細かいケアであることはもちろんのこと、効率のよい介護サービスが必要不可欠である。

平成27年3月31日現在

区分	正常	Ⅰ	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	Ⅴ	合計
男(人)	0	0	0	5	3	3	2	0	13
女(人)	0	0	0	12	9	3	3	0	27
実数(人)	0	0	0	17	12	6	5	0	40
割合(%)	0%	0.0%	0.0%	42.5%	30.0%	15.0%	12.5%	0.0%	100%

障害高齢者の日常生活自立度状況

ユニット特養における利用者の障害高齢者の日常生活自立度状況は、ランクⅥに属する利用者は0名、Ⅶが15名、Ⅷが15名、ランクⅨが10名(3月31日現在)となっている。

特徴としては、ランクⅦの利用者が37.5%と、歩行が可能な方が多く、そのために転倒のリスクも高いことから、こまめな見守り、一部介助が必要となる。また、ランクⅧの利用者も37.5%と多く、日中はベッド、食事・排泄はベッドから離れて行う細やかなケアをしていかなければならない方が多い。また、移乗等も含め利用者の安全確保に努めるとともに、安全を求めるあまりに干渉しすぎる事にならないよう、利用者の行動意欲を引き出すよう配慮しながら日々の介護サービスが必要である。

平成28年3月31日現在

区分	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	Ⅺ	Ⅻ	Ⅼ	合計
男(人)	0	0	1	3	0	5	2	2	13
女(人)	0	0	10	1	3	7	3	3	27
実数(人)	0	0	11	4	3	12	5	5	40
割合(%)	0%	0%	27.5%	10%	7.5%	30%	12.5%	12.5%	100%

年齢、性別および入所期間別区分表

平成29年3月31日現在

区 分		入所者数	入 所 期 間				
			～1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～
～64歳	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0
65～ 69歳	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0
70～ 79歳	男	3	1	0	0	2	0
	女	6	0	0	2	4	0
	計	9	0	0	0	6	0
80～ 89歳	男	7	0	2	4	1	0
	女	12	2	2	2	6	0
	計	19	0	4	6	7	0
90歳～	男	3	0	0	1	2	0
	女	9		1	1	7	0
	計	12	0	0	2	9	0
合 計	男	13	1	2	5	5	0
	女	27	2	3	5	17	0
	計	40	3	5	10	22	0
平均年齢 男性84.77歳 女性85.03歳 総数84.96歳							

保険者別区分表

保険者	区 分	人 数
袖ヶ浦市	介護保険利用者	25
木更津市	介護保険利用者	7
市原市	介護保険利用者	6
栃木県佐野市	介護保険利用者	1
千葉市	介護保険利用者	1

Ⅱ. 短期入所事業（ショートステイ）

総括

平成28年度の稼働率は92.8%（前年比4.3ポイント増）、利用延べ人数では13,655人（前年比628人増）であり、前年度を大きく上回った。

要因としては、協力病院を始め、居宅支援事業所から、継続的に利用者の紹介を頂けたため、昨年度より大幅に上回ったことが考えられる。相談のケースを分析すると、ご家族の就労による在宅での介護が困難なケース・高齢者が疾病や怪我等で入院したため退院後に急に介護が必要となったケース・介護する側が体調を崩し介護が継続的に継続できなくなったケース等が挙げられ、通所介護サービスを利用される方が、ショートステイサービスメインの利用に切り替えられたことが昨年と同様に考えられる。しかし、需要が増大しているのにも関わらず、利用される方が入院された際の空きベッドを他の方に利用して頂く為の調整がスムーズに行えず、空床が出来てしまっていることもあり、今後の課題となっている。

今後は、各居宅支援事業所のケアマネジャー宛に定期的な空き状況のお知らせをすることはもとより、入院等で予期せず空きベッドが生じた場合は、その都度電話、メール、FAXを駆使し、こまめに外部のケアマネジャーに通知していき、利用希望者に対して迅速に面接や契約を行い、早い段階での受け入れ体制を作り空きベッドを有効に活用し稼働率の落ち込みを防ぎ、安定した稼働の確保に努めていく。

<年間利用状況集計>

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

利用人数	575人
利用延人数	13,655人（1日平均35.6人）
稼働床数	14,600床（1日40床×365日）
稼働率	93.5%
一人あたりの月間利用日数	21.6日

<月別利用状況>

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人数（人）	46	47	45	46	50	51	49	50	49	49	47	46	575
利用日数（日）	1,137	1,138	1,073	1,170	1,231	1,151	1,082	1,104	1,220	1,126	1,024	1,199	13,655
稼働率（%）	86.0	92.0	90.0	94.0	99.0	96.0	87.0	92.0	98.0	91.0	91.4	97.0	93.5

※本頁中の人数及び利用者数は、予防給付・介護給付を合算したもの

シヨートステイ要介護度別の状況

4月

10月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	1	0	6	10	15	11	9	52
割合(%)	1.9	0.0	11.5	19.2	28.9	21.2	17.3	100.0

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	1	0	6	8	14	11	13	53
割合(%)	1.9	0.0	11.3	15.2	26.4	20.7	24.5	100.0

5月

11月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	4	11	13	12	11	51
割合(%)	0.0	0.0	7.8	21.6	25.5	23.5	21.6	100.0

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	7	9	17	11	9	53
割合(%)	0.0	0.0	13.3	17.0	32.0	20.7	17.0	100.0

6月

12月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	5	8	11	14	11	49
割合(%)	0.0	0.0	10.2	16.3	22.4	28.7	22.4	100.0

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	1	0	6	9	17	11	9	53
割合(%)	1.9	0.0	11.3	17.0	32.0	20.7	17.0	99.9

7月

1月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	4	9	11	12	12	48
割合(%)	0.0	0.0	8.3	18.8	22.9	25.0	25.0	100.0

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	1	0	5	8	21	11	7	53
割合(%)	1.9	0.0	9.4	15.2	39.6	20.7	13.2	100.0

8月

2月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	1	0	6	10	11	14	11	53
割合(%)	1.9	0.0	11.3	19.0	20.7	26.4	20.7	100.0

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	5	10	18	10	7	50
割合(%)	0.0	0.0	10.0	20.0	36.0	20.0	14.0	100.0

9月

3月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	6	9	14	12	12	53
割合(%)	0.0	0.0	11.3	17.0	26.4	22.6	22.6	99.9

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	1	0	4	11	16	11	7	50
割合(%)	2	0.0	8.0	22.0	32.0	22.0	14.0	100.0

4月～9月計

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	2	0	31	57	75	75	66	306
割合(%)	0.6	0.0	10.2	18.6	24.5	24.5	21.6	100.0

10月～3月計

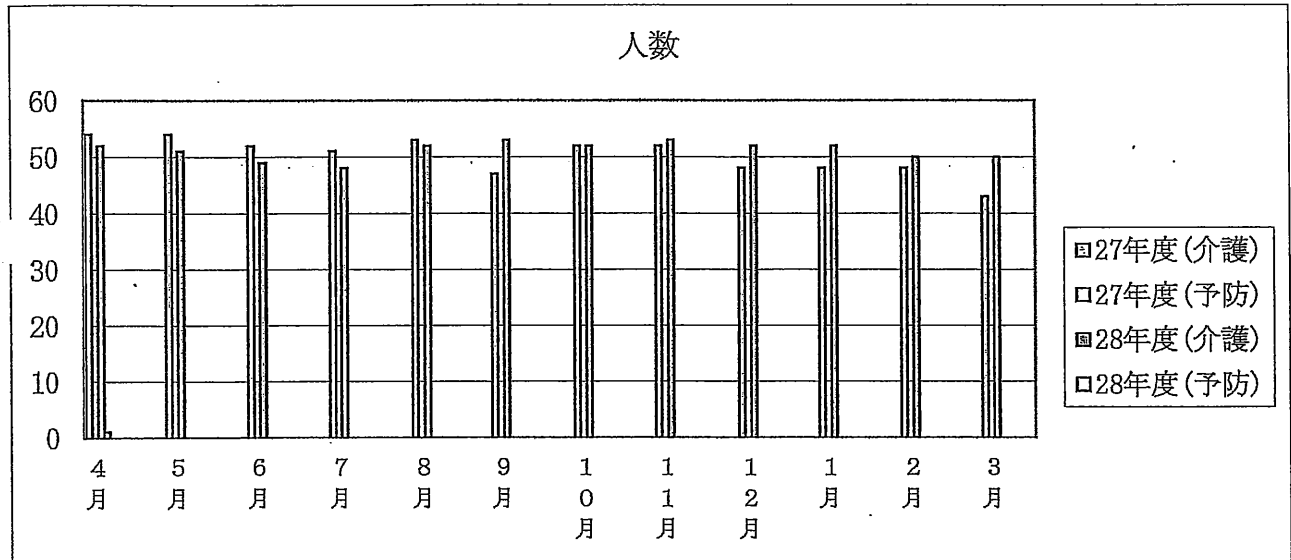
区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	4	0	33	55	103	65	52	312
割合(%)	0	0.0	5.1	19.0	31.1	25.3	19.5	100.0

4月～3月計

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	6	0	64	112	178	140	118	618
割合(%)	1.0	0.0	10.4	18.1	28.8	22.6	19.1	100.0

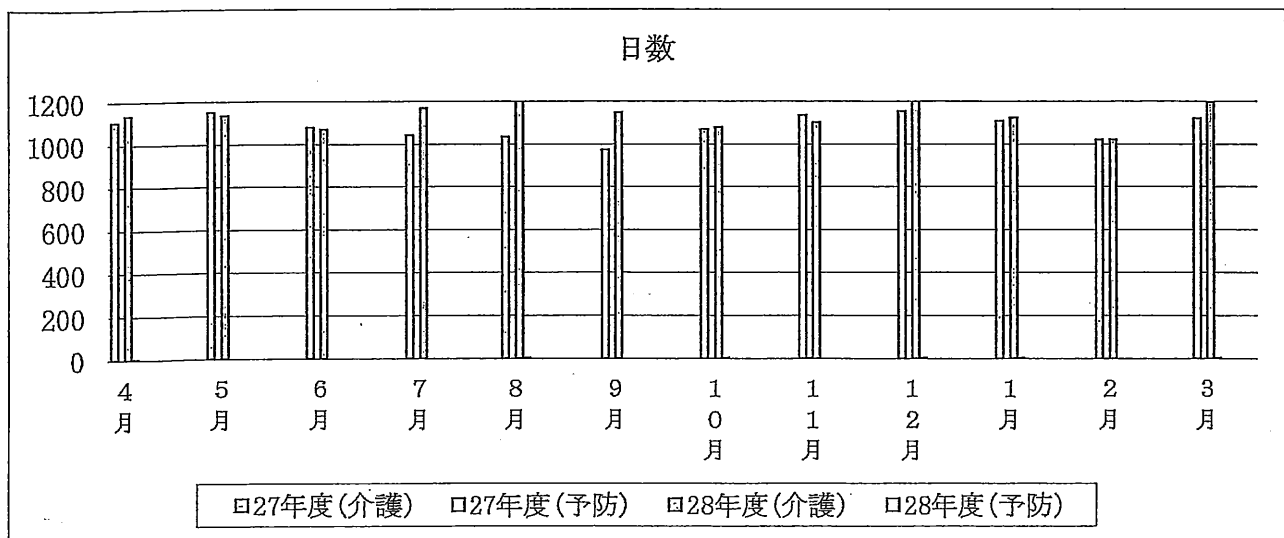
■平成27年度及び28年度利用人数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
27年度(予防)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
27年度(介護)	54人	54人	52人	51人	53人	47人	52人	52人	48人	48人	48人	43人	602人
28年度(予防)	1人	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	1人	1人	0人	0人	5人
28年度(介護)	52人	51人	49人	48人	52人	53人	52人	53人	52人	52人	50人	50人	618人
27年度/28年度	98.0%	94.4%	94.2%	94.1%	117.7%	90.3%	100.0%	101.9%	108.3%	108.3%	104.1%	116.2%	102.6%



■平成27年度及び28年度利用延べ日数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
27年度(予防)	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日
27年度(介護)	1108日	1152日	1081日	1045日	1037日	976日	1073日	1139日	1157日	1112日	1024日	1123日	13027日
28年度(予防)	1日	0日	0日	0日	1日	0日	1日	0日	1日	1日	0日	1日	6日
28年度(介護)	1073日	1138日	1073日	1170日	1231日	1151日	1082日	1104日	1220日	1126日	1024日	1199日	13655日
27年度/28年度	96.8%	98.7%	99.2%	111.9%	118.7%	117.9%	100.8%	107.2%	105.4%	101.2%	100.0%	106.7%	104.8%



Ⅲ. 通所介護事業（デイサービス）

総括

平成28年度のデイサービスの稼働実績・利用人数は、予防通所介護(要支援者)、通所介護(要介護者)合算で利用人数が438名(前年度比26名減)、延べ利用人数は3,207人(前年度比345人減)であった。

減少した要因として、利用者の体調不良や入院が挙げられる。

新規で利用する人数よりも体調不良や入院される利用人数が上回っている。

また、ショートステイとの併用からショートステイのみや、主サービスをショートステイのサービスに切り替える利用者が多い事も要因として挙げられる。

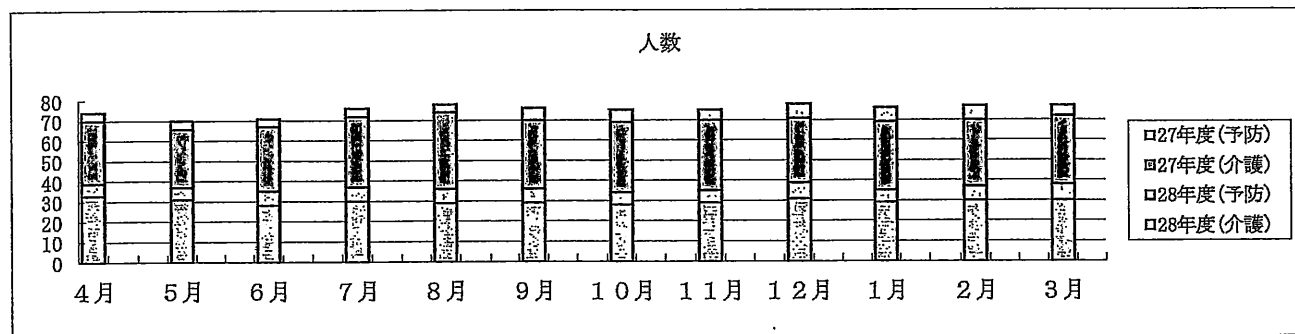
利用者からはサービスに対しての不満の声等は聞かれておらず、継続率も高いが、体調不良や入院などがあるために利用率は向上しない。新規の利用者を獲得し続けることが喫緊の課題であると考えられる。

今後の具体的な取り組みとして、ブログでの紹介や、サービス及び職員自身の質の向上を図るため職員同士の意見交換を活発化させていき、外部ケアマネの居宅支援事業所へ訪問し、デイサービスの日々の取り組みをアピールしていく。また、信頼される事業所として地域から高い評価を受けられるように努める。

<平成27年度及び28年度利用人数比較>

(平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日)

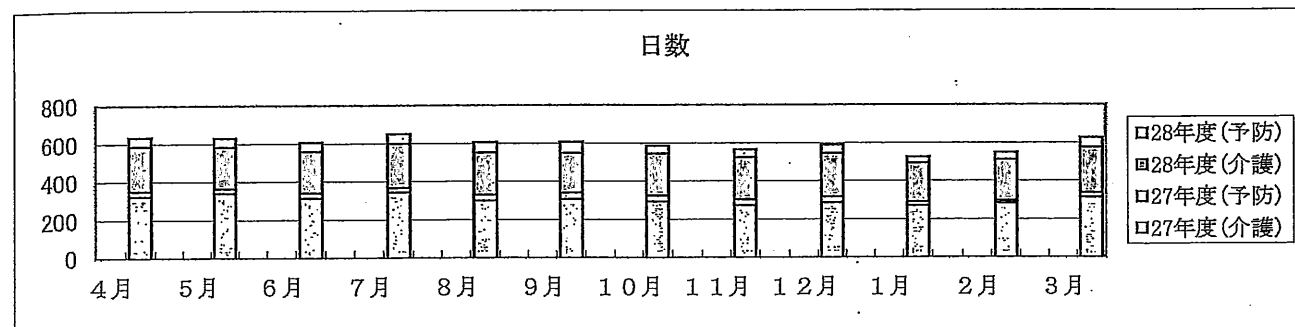
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
27年度(予防)	4人	4人	4人	4人	4人	6人	6人	5人	7人	7人	7人	5人	63人
27年度(介護)	31人	29人	32人	35人	38人	34人	35人	35人	32人	34人	33人	33人	401人
27年度(予防)	6人	6人	7人	7人	7人	7人	6人	6人	8人	6人	7人	8人	81人
27年度(介護)	33人	31人	28人	30人	29人	29人	28人	29人	31人	29人	30人	30人	357人
28年度/27年度	111.4%	112.1%	97.2%	94.8%	85.7%	90.0%	82.9%	87.5%	100.0%	85.3%	92.5%	100.0%	94.3%



<平成27年度及び28年度利用延べ人数比較>

(平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
27年度(予防)	23人	25人	25人	22人	26人	45人	40人	35人	47人	48人	49人	37人	422人
27年度(介護)	252人	250人	263人	288人	299人	307人	292人	272人	287人	271人	283人	270人	3,130人
28年度(予防)	46人	47人	47人	48人	52人	56人	41人	39人	43人	31人	37人	51人	538人
28年度(介護)	237人	217人	218人	234人	223人	210人	221人	222人	230人	204人	213人	240人	2,669人
28年度/27年度	102.9%	96.0%	92.0%	90.9%	84.6%	75.5%	78.9%	85.0%	81.7%	73.6%	75.3%	94.7%	90.2%



デイサービス要介護度別の状況

4月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	1	5	8	15	5	2	3	39
割合(%)	2.6	12.8	20.5	38.5	12.8	5.2	7.6	100.0

10月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	1	5	8	13	4	0	3	34
割合(%)	2.9	14.7	23.5	38.3	11.8	0.0	8.8	100.0

5月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	1	5	8	14	5	1	3	37
割合(%)	2.7	13.5	21.6	37.9	13.5	2.7	8.1	100.0

11月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	6	9	13	4	0	3	35
割合(%)	0.0	17.1	25.7	37.2	11.4	0.0	8.6	100.0

6月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	2	5	7	12	5	1	3	35
割合(%)	5.7	14.3	20.0	34.3	14.3	2.8	8.6	100.0

12月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	1	7	10	13	4	1	3	39
割合(%)	2.6	17.9	25.6	33.3	10.3	2.6	7.7	100.0

7月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	1	6	8	14	4	1	3	37
割合(%)	2.7	16.2	21.6	37.9	10.8	2.7	8.1	100.0

1月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	6	9	10	5	1	4	35
割合(%)	0.0	17.1	25.7	28.6	14.3	2.9	11.4	100.0

8月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	1	6	8	12	4	1	4	36
割合(%)	2.8	16.7	22.2	33.3	11.1	2.8	11.1	100.0

2月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	2	5	10	11	5	1	3	37
割合(%)	5.4	13.5	27.0	29.8	13.5	2.7	8.1	100.0

9月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	7	8	13	5	0	3	36
割合(%)	0.0	19.5	22.2	36.1	13.9	0.0	8.3	100.0

3月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	2	6	10	11	5	1	3	38
割合(%)	5.2	15.8	26.3	29.0	13.2	2.6	7.9	100.0

4月～9月計

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	6	34	47	80	28	6	19	220
割合(%)	2.7	15.5	21.4	36.4	12.7	2.7	8.6	100.0

10月～3月計

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	6	35	56	71	27	4	19	218
割合(%)	5.0	10.5	21.0	39.3	8.4	7.9	7.9	100.0

4月～3月計

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	12	69	103	151	55	10	38	438
割合(%)	2.7	15.8	23.5	34.5	12.5	2.3	8.7	100.0

平成28年度行事実績

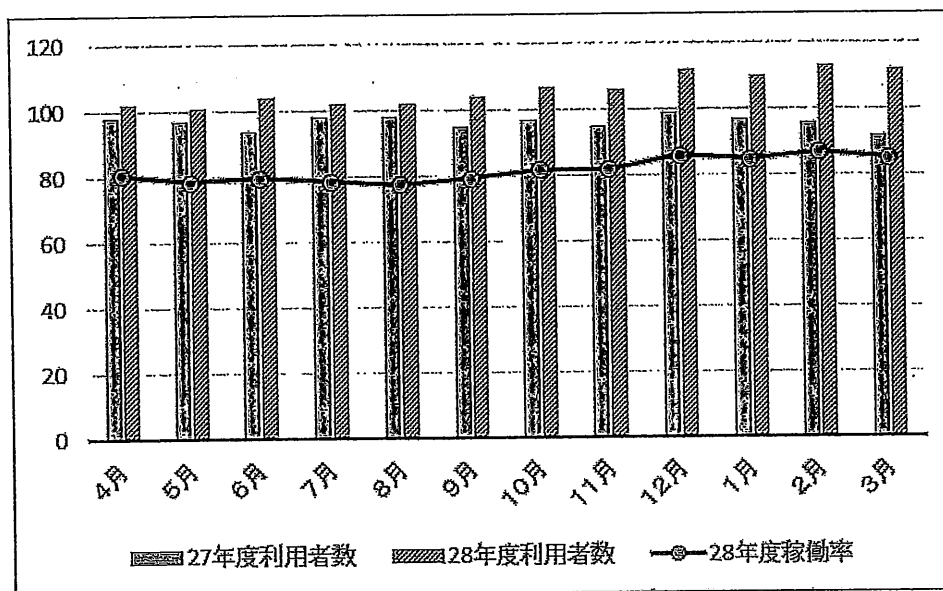
	主 な 行 事	定 期 行 事	その他
4月	桜見物・ドイツ村 芝桜見物	誕生会	
5月	鯉のぼり見物・鯉のぼりピザ作り	誕生会	
6月	あやめ・あじさい見物 梅ジュース作り	誕生会	
7月	スイカ割り・流しそうめん	誕生会	
8月	夏祭り・ぶどう狩り	誕生会	
9月	敬老会・おはぎ作り	誕生会	
10月	ケーキバイキング	誕生会	
11月	焼き芋作り・紅葉ドライブ	誕生会	
12月	クリスマス忘年会	誕生会	
1月	初詣(姉崎神社)	誕生会	
2月	おやつ作り・節分	誕生会	
3月	梅見物ドライブ	誕生会	

IV. 居宅介護支援事業（居宅介護支援センター）

利用者数および稼働率推移

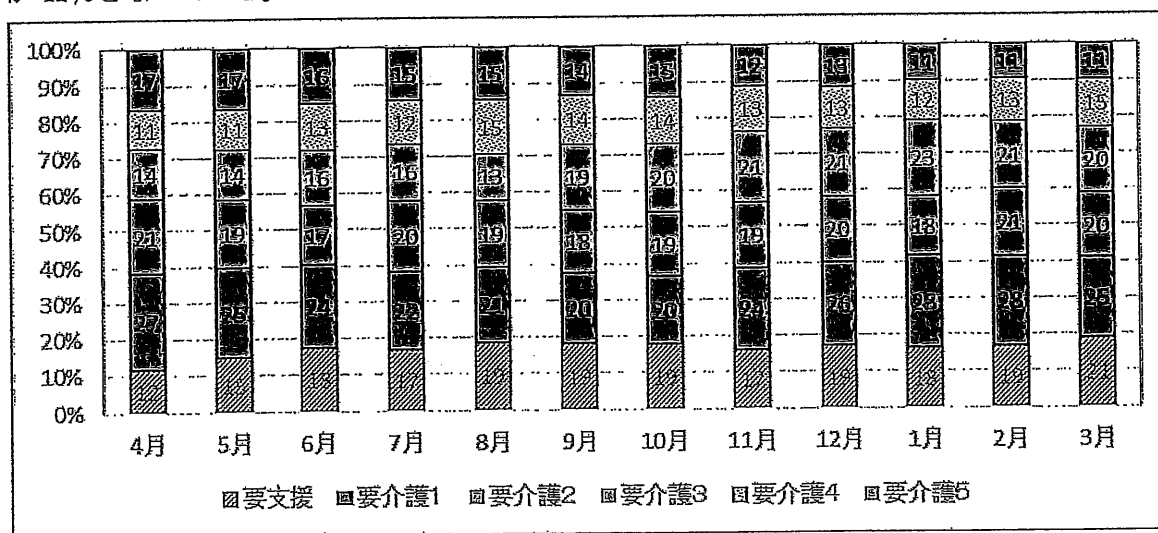
平成 28 年度の延べ利用者数は 1275 名、月平均利用者数は 106.3 名であった。これは、前年度実績より 119 名増加、月平均では約 10 名増加しており、ケアマネ各自の努力の成果といえる。月平均稼働率は前年度実績より 2.6%ほど上回る 81.8%となっている。

29 年度は今以上に利用者数推移に着目し、利用者数の増加、稼働率の向上という共通目標を持ちながら新規利用者の獲得に努めていきたい。



介護度別利用者推移

年度末時点で要支援者の割合が 19%、要介護 1～2 の割合が 40%、要介護 3～5 の割合が 41%となっている。



要介護認定訪問調査委託事業（委託業務）

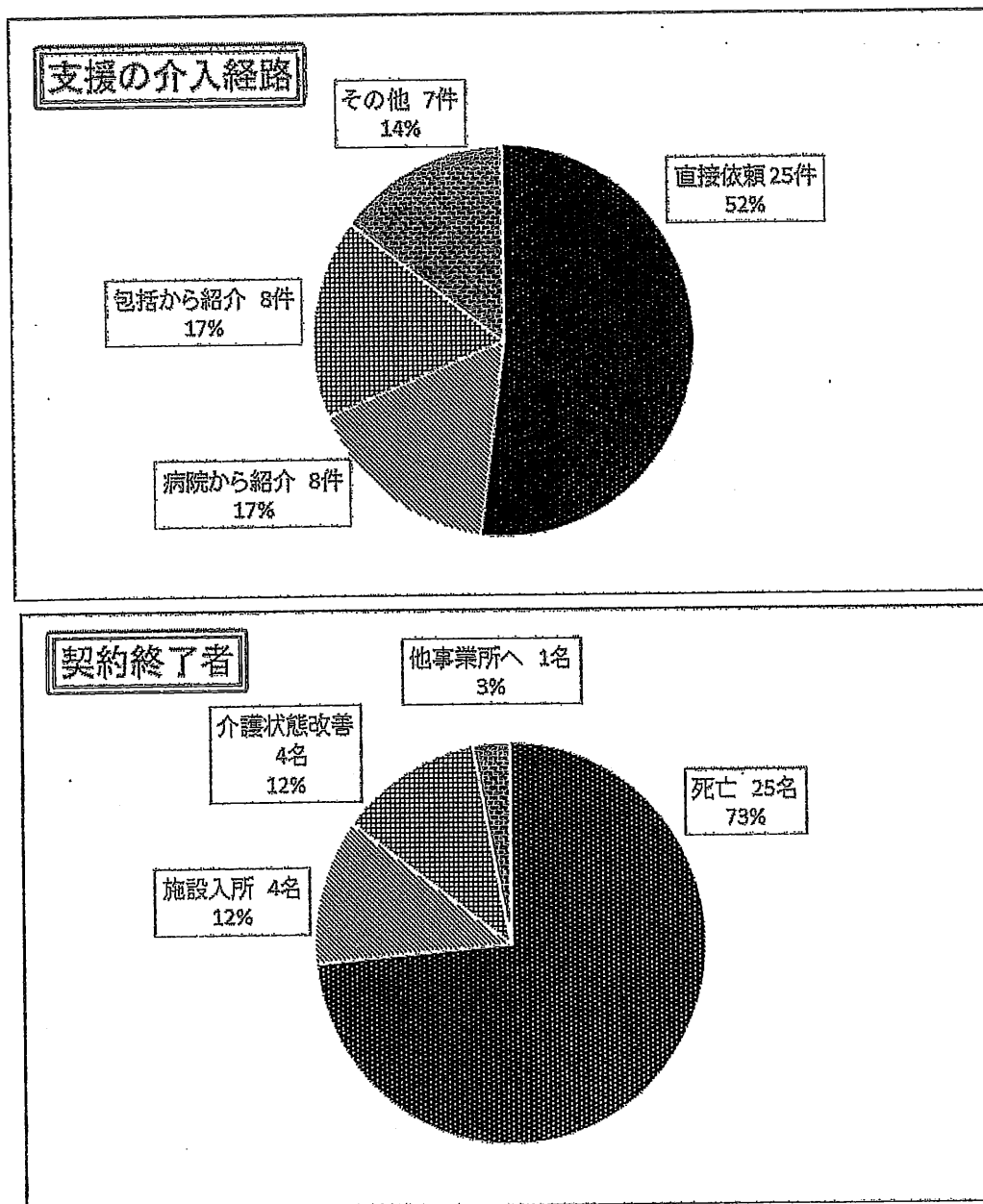
今年度の委託件数は32件であった。今後も袖ヶ浦市、他市区町村との連携の下、積極的に訪問調査を行っていきたい。

袖ヶ浦市委託件数 26件

袖ヶ浦市以外 6件

新規契約者及び契約終了者について

今年度の新規契約者数は48名であった。新規介入経路の内訳はグラフの通りである。
契約終了者は25名であり、その内訳としては死亡による支援終了が7割以上を占めている。



V. 地域包括支援センターのランチ事業

28年度の実態把握件数は前年比39%増の278件であった。
増加した要因として、前年度は担当が退職や体調不良などで訪問に行けず、また、引き継ぎのタイムラグもあり、月々の訪問件数自体が少なかったが、今年度は毎月一定以上の訪問実態調査が出来たことが増加の要因として挙げられる。今後も地域包括支援センターとの連携の下、効率よく空き時間などをうまく作り、高齢世帯の実態把握訪問を行い、訪問件数を増やしながら援護高齢者の発見に努めたい。

1. 相談対応実績

	実態把握訪問時	その他	計	累計
相談対応件数 (対象高齢者数)	277	1	278	278

(件)

※「累計」は前月までの累計に当月計を加えたもの(年度内)。

2. 相談対応実績(対応延回数)

	計	対応内容別延回数		
		電話	来所	訪問
相談対応回数(延)	177	1	0	277

(回)

※同一対象者に複数回対応した場合、それぞれを1回とカウントする。

3. 実態把握実績

	独居	高齢者複数	その他	計
新規	2	275	0	277
再訪問	0	1	0	1
計	2	276	0	278

(件)

※今年度に限らず過去に一度でも実態把握をしている場合は、再訪問とする。

給与栄養量

H28. 4. 1～H29. 3. 31

月	熱 量 kcal	蛋白質 g	脂 肪 g	カルシウム mg	ビ タ ミ ン				食 塩 g
					レチノール μ g	B1 mg	B2 mg	C mg	
H28.4	1,472	62	37.5	705	1,023	0.83	0.92	85	8.6
7	1,482	59.9	36.9	737	972	1.54	1.44	91	7.9
10	1,508	66.6	38.9	608	696	0.91	1.07	109	9.3
H29.1	1,478	71.3	34.9	713	804	1.22	1.13	116	9.7
月平均	1,485	65.0	37.1	691	874	1.13	1.14	100	8.9
摂取基準量	1,400	60	31～47	700	800	1.20	1.30	100	8

主食種類別状況

H29. 3. 31現在

区 分	流動食 (濃厚)	ミキサー食	全 粥	軟 飯	常 食	計
A・B棟	3	10	22	6	11	52名
C棟	2	4	17	1	16	40名

副食種類別状況

H29. 3. 31現在

区 分	常 食	一口大	きざみ	極きざみ	ミキサー	流動食 (濃厚)	計
A・B棟	5	8	6	18	12	3	52名
C棟	12	6	1	15	4	2	40名

入所者嗜好調査結果

平成 29 年 3 月 31 日

食 品 名	食べられない人	率 (%)	代 替 食
牛 乳	2 名	2	コーヒー・紅茶・ジュース
納 豆	12 名	13	卵料理
パ ン	4 名	4	ごはん、粥
麺 類	15 名	16	ごはん、粥
刺 身	2 名	2	甘塩鮭
鮭、鯖	7 名	7	甘塩鮭、卵料理
肉類	3 名	3	卵類、魚缶類
カレー	4 名	4	肉じゃが
トマト	1 名	1	じゃがいも、アスパラ等
さつま芋	0 名	0	じゃがいも
ヨーグルト	1 名	1	牛乳、ジュース類
ウナギ	1 名	1	甘塩鮭
グレープフ ルーツ	5 名	5	果物缶
梅干し	4 名	4	塩分制限の為なし
卵	1 名	1	甘塩鮭

※ AB、C棟入居者の平均年齢は男 83 歳、女 86 歳と共に 80 歳を超え、それに伴い副菜の形態も常食が 17 名、一口大が 14 名、きざみが 7 名、極きざみが 33 名、ミキサー食 16 名と約 7 割の方達は料理の形態を崩した食事での対応となっている。

認知症の進行と平行し BMI18.5 以下の方が増加の一途をたどっている。高齢にともない認知症も進行しており、ミキサー食の増加、嗜好面意思表示の低下、味覚の鈍化も顕著になっている。反面、偏食が是正され栄養素バランスが向上している。

しかし、咀嚼、嚥下低下のため摂取量の低下による必要エネルギー量の確保が困難である。一方で、少人数だが肥満傾向の体重増加の予防、機能低下を予防する為リハビリや体操なども積極的に取り組んだ。さらに誤嚥の為、主食の麺類等が摂取困難のため禁止食となるケースが増加傾向を示し食事メニューの選択幅が減少している。また医薬品の関係で一定の食材が禁止になる場合も多くなってきており納豆やグレープフルーツなどが禁止となる人数も増加傾向にある。

行事食の状況

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

行 事	月 日	献 立 内 容
花見	4 月 8 日	お汁粉
創立記念日	5 月 12 日	紅白饅頭 昼食：ご飯、すまし汁、お刺身、筑前煮、いちご
あやめ見物	6 月上旬	袖ヶ浦公園にて：アイス
夏祭り	7 月 10 日	B 棟 じゃがバター、焼きそば、アイス、お茶、駄菓子
	7 月 24 日	A 棟 かき氷、わた菓子、すいか、駄菓子、ジュース
	7 月 16 日	C 棟 1 階 バーベQ
	7 月 24 日	C 棟 2 階 かき氷、串焼き、たこ焼き、 ジュース、駄菓子
敬老会	9 月 25 日	昼食：赤飯、天ぷら盛合せ、茶碗蒸し、ほうれん草 の胡麻和え、お吸い物 A 棟 和菓子、芋ようかん、果物とゼリー盛り合わせ、お 煎餅、駄菓子、チョコレート、お茶
	9 月 16 日	C 棟 1 階
	9 月 18 日	C 棟 2 階 昼食：松花堂弁当、お吸い物、和菓子(ねりきり)
	9 月 18 日	B 棟 紅白饅頭、洋菓子(ムース)、お煎餅、駄菓子、お茶
お彼岸	9 月 22 日	おはぎ(代替食：お汁粉)
クリスマス 忘年会	12 月 18 日	A 棟 2 階、A 棟 3 階、 B 棟 C 棟 2 階 昼食：オムライス、鶏団子と白菜のクリーム煮 コーヒーゼリー、スープ おやつ：クリスマスケーキ
	12 月 20 日	C 棟 1 階 昼食：ご飯、味噌汁、メンチカツ、大根サラダ、 果物 おやつ： クリスマスケーキ
年越しそば	12 月 31 日	昼食：かき揚げそば、えびしんじょう、ゼリー

お正月	1月1日	昼食：赤飯、清汁、おせち盛り合わせ、 茶碗蒸し、果物缶 ※三箇日は各階に温州ミカン1箱を配布 甘酒、葛餅風、どらやき、和菓子、お汁粉、玄米茶
七草粥	1月7日	朝食：七草粥、味噌汁、豆腐ハンバーグ、和え物
節分	2月5日	A・B棟 豆茶、抹茶プリン
	2月3日	C棟 1F、C棟 2F 節分甘納豆、ケーキ
ひな祭り	3月3日	昼食：海鮮ちらし、お吸い物、筑前煮、茶碗蒸し、 コーヒーゼリー A・B・C棟 甘酒
お彼岸	3月20日	おはぎ（代替食：お汁粉）
誕生日会	AB棟：月毎に設定 C棟：毎月第4木 曜日	ケーキ、お茶

VII. 健康管理

特別養護老人ホームサニーヒル 入院者個別状況

平成28年4月1日～平成29年3月31日

	氏 名	入院日	退院日	入院日数	入院理由
1	K I	28.4.4	28.4.23	20	肺炎
2	K N	28.4.18	28.4.30	13	心筋梗塞
3	M E	28.6.2	28.7.2	30	肺炎
4	K K	28.6.14	28.7.14	30	胸水貯留
5	M N	28.6.30	28.7.16	17	肺炎
6	S O	28.8.16	28.9.10	26	胸水貯留
28年度延べ入院者数 27人 述べ入院日数 725日間					

特別養護老人ホームサニーヒル 入所者の疾患状況

平成29年3月31日現在

	疾患名	男	女	計
循環器系	高血圧	5	20	25
	心疾患	3	7	10
呼吸器系	気管支喘息 他	1	3	4
中枢神経系	脳梗塞	1	9	10
	パーキンソン病	1	1	2
運動器系	脊髄変形症	0	0	0
	リウマチ	0	0	0
	骨粗鬆症	0	2	2
消化器系	急性・慢性胃腸炎	1	1	2
	胃潰瘍	0	0	0
	肝・膵臓炎 他	1	2	3
内分泌系	糖尿病	2	2	4
泌尿器系	前立腺肥大症	1	0	1
	腎不全	0	2	2
眼科系	失明	0	0	0
	白内障	0	0	0
合 計		16	49	65

※合併症を含む

特別養護老人ホームサニーヒル ユニット 入院者個別状況

平成28年4月1日～平成29年3月31日

	氏 名	入院日	退院日	入院日数	入院理由
1	N H	28.4.7	28.4.18	10	肺炎
2	M S	28.4.9	28.4.27	19	肺炎
3	M S	28.5.11	28.5.28	18	肺気胸
4	I T	28.5.20	28.5.27	8	肺炎・胆石・肺腺癌
5	T K	28.7.4	28.8.16	43	脳梗塞・尿路感染症
6	N K	28.7.4	28.7.10	7	肺炎
26年度延べ入院者数 11人、 延べ入院日数 138日					

特別養護老人ホームサニーヒル ユニット 入所者の疾患状況

平成29年3月31日現在

	疾患名	男	女	計
循環器系	高血圧	7	18	25
	心疾患	3	6	9
呼吸器系	気管支喘息 他	9	3	12
中枢神経系	脳梗塞	4	8	12
	パーキンソン病	0	2	2
運動器系	脊髄変形症	3	2	5
	リウマチ	0	0	0
	骨粗鬆症	0	8	8
消化器系	急性・慢性胃腸炎	0	4	4
	胃潰瘍	0	0	0
	肝・膵臓炎 他	3	3	6
内分泌系	糖尿病	2	5	7
泌尿器系	前立腺肥大症	3	0	3
	腎不全	0	0	0
眼科系	失明	0	0	0
	白内障	0	0	0
合 計		34	59	93

※合併症を含む

VIII. 施設実習及び地域交流

介護実習等施設受入れ実績

施設実習生等の受入れについては、地域福祉の観点から積極的に受け入れている。年間を通じた実習生の延べ人数は下表に示す通り、専門学校・短期大学では45日、ヘルパー養成機関12日、体験学習24日である。

昨年度より学生及びヘルパー養成施設共受け入れ人数が激減したが、その要因としては、25年度より介護職員初任者研修制度（旧ヘルパー2級）が導入され施設実習の義務化されなくなった事と、景気回復のあおりを受け介護現場への就業を望んでいる人が減少している為である推察される。

福祉短大・専門学校	人数（前年度実績）	延べ日数（前年度実績）
植草学園短期大学	2名（0名）	17日（0日）
京葉介護専門学校	2名（2名）	28日（28日）
東京福祉専門学校	0名（0名）	0日（0日）
計	4名（2名）	45日（28日）

ヘルパー養成施設	人数（前年度実績）	延べ日数（前年度実績）
ニチイ学館	0名（0名）	0日（0日）
三幸福祉カレッジ	8名（12名）	12日（67日）
計	8名（12名）	12日（67日）

介護体験	人数（前年度実績）	延べ日数（前年度実績）
日本経営協会（県新採職員研修）	24名（15名）	24日（15日）
計	24名（15名）	24日（15日）

地域ボランティア受入れ実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
延べ人数	30人	33人	34人	30人	14人	22人	163人
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	18人	24人	20人	8人	6人	14人	90人

年間受入れ延べ人数	253人
-----------	------

※前年度実績 258人

クラブ活動状況

クラブ名	1回あたりの参加人数			指導者名	開催状況
	男性	女性	合計		
生け花クラブ	0人	5人	5人	鈴木 江美子	月1回
書道クラブ	12人	20人	35人	鈴木 喜子・河野 友子	月2回
朗読クラブ	4人	26人	30人	ボランティア	月1回
歌クラブ	3人	30人	33人	ボランティア	月1回

IX. 行事運営等活動及び保守整備状況

年間行事運営活動実績一覧

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等
4 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 入所者定期検診 (春季) (年1回実施) ※血圧測定、 健康相談随時 職員(直接処遇) 定期検診 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 空調点検	お花見 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 栄養士研修会 給食会議 経営会議 ヒヤリハット委員会 全体会議
5 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 職員(直接処遇) 定期検診 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	端午の節句 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ	給食会議 生活支援会議 ケース会議 袖ヶ浦市ケアマネ連絡協議会 運営委員会 経営会議 ヒヤリハット委員会
6 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 冷暖房切替 火気取扱箇所点検 地下貯蔵タンク清掃 漏洩検査	あやめ見物 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議 経営会議 ヒヤリハット委員会
7 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	七夕会 夏祭り 誕生会 久保田保育所来訪 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ	全体会議 生活支援会議 ケース会議 ケアマネジメント研修会 給食会議 感染症予防研修 給食施設管理者従事者研修会 袖ヶ浦市ケアマネ連絡協議会 運営委員会 経営会議 ヒヤリハット委員会

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等
8 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	誕生会 夕涼み会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 ケアマネジメント研修会 給食会議 事故防止研修 経営委員会 ヒヤリハット委員会
9 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 職員定期検診	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	敬老会 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 ケアマネジメント研修会 給食会議 看取りに関する研修 接遇マナー向上セミナー 経営委員会 ヒヤリハット委員会
10 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 職員定期検診 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	運動会 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 経営会議 給食会議 身体拘束廃止研修 袖ヶ浦市ケアマネ連絡協議会 市原市ケアマネ連絡協議会 ケアマネジメント研修会 ヒヤリハット委員会 全体会議 防火管理者研修
11 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 焼き芋	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 経営会議 給食会議 ケアマネ現任研修 ヒヤリハット委員会

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等
12月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	忘年会 クリスマス会 久保田保育所来訪 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 全体会議 給食会議 褥瘡対策に関する研修 ヒヤリハット委員会
1月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 火気取扱箇所点検 給水施設点検 避難訓練	初詣 鏡開 誕生会 お茶会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 全体会議 給食会議 感染症研修 市原市ケアマネ連絡協議会 医療介護福祉委員会 ヒヤリハット委員会 経営委員会
2月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 避難訓練	節分 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 看護師向上委員会 給食会議、給食委員会 事故防止研修 栄養士協議会研修 給食施設管理者従事者研修 袖ケ浦市ケアマネ連絡協議会 市原市ケアマネ連絡協議会 介護認定調査委員現任研修 ヒヤリハット委員会
3月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検 避難訓練	雛祭り 誕生会 お茶会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 看護師向上委員会 給食会議 ケアプラン研修 ヒヤリハット委員会 施設長・介護保険担当者研修会 介護認定審査会委員研修

設備機器導入ならびに保守整備状況一覧

年 月	件 名	内 容
2 8 . 9	・ ノートパソコン	・ 事務効率向上の為
2 8 . 1 2	・ 特浴室の外壁工事	・ 老朽化した浴室を安全に使用する為